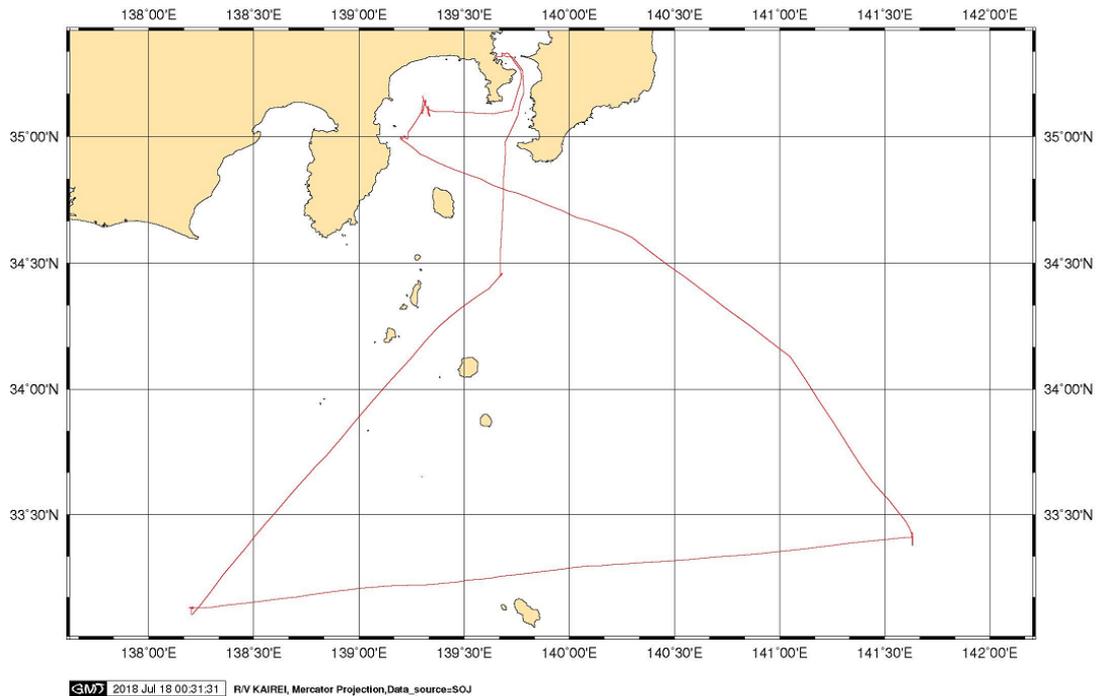


提出日： 2018 年 8 月 7 日

クルーズサマリー

1. 航海情報

- (1) 航海番号：KR18-08
- (2) 船舶名：かいいい
- (3) 航海名称：無人探査機「かいこう」試験潜航
- (4) 首席研究者：[海洋研究開発機構] 南部 喜信
- (5) 課題代表研究者：[海洋研究開発機構] 南部 喜信
- (6) 航海期間：平成 30 年 7 月 14 日（土）～平成 30 年 7 月 18 日（水）
- (7) 出港地～寄港地～帰港地の情報：横須賀機構棧橋～横須賀機構棧橋
- (8) 調査海域名：相模湾、伊豆・小笠原海溝、南海トラフ
- (9) 調査マップ：



2. 実施内容

(1) 概要

本航海では「かいこう」陸上整備工事後の作動確認試験及び運航要員の操縦訓練を実施する。また、賛助会の体験乗船、「かいいい」ジャイアント・ピストンコアラーの貫入状況の確認を行う。

(2) 内容

潜航試験 (Dive#775, #776, #777)

沈降試験実施後、深度 1,000m(Dive#775)、5,800m(Dive#776)、4,000m(Dive#777)の計3回の潜航試験を実施し、システムが健全であること、および以降の調査行動に供するに問題のないことを確認した。また、Dive#777ではGPCを捜索し観察を行った。

1) 沈降試験

沈降試験実施方案に従い各機器の動作確認を実施、異常なし。

2) 潜航試験

最大潜航深度（ピークル深度 5,800m）において、「かいこう」海上試験方案に従い各機器の動作確認を実施、異常なし。

本航海は期間中ずっと好天に恵まれ計画通りに作業を遂行することができた。「かいこう」システムは最大潜航深度 5,800mにおいて健全性が確認され以降の調査行動に供することとなる。今回換装したシステムの中枢を担うランチャーの伝送装置や油圧系統の要となる電動機が問題なく動作したことは一安心である。ランチャーはまだ一部建造時のものが残っており、現状を維持するためにも更新の検討を継続する必要がある。船上部でも老朽化する各装置は段階的に更新しており、今回特に操縦盤正面のデジタル表示部については、従来の7セグ表示からソフトウェアによる表示にリニューアルしたことで雰囲気も変わり随分見やすくなった。賛助会体験乗船者の方々へは潜航作業見学、船内ツアーおよび座学を通して JAMSTEC の調査活動を知って頂くのに良い機会を提供することができた。

以上